

【奨 励 賞】【審査員特別賞】



氏 名 大園 優美
(おおその ゆみ)

国・地域 中国 

在日期間 1年

学 校 星峯中学校

タイトル : 今を全力で

みなさん、こんにちは。私は、一年前に中国から来ました、大園優美です。今は星峯中学校の2年生です。

私は、日本に来たころ、全く日本語が分かりませんでした。スーパーで買い物をして、レジの人に「カードありますか。」「袋いりますか。」私には「△○×?」全然わかりませんでした。そんな時に、私は公園に遊びに行きました。それから、町を探検したくて、公園を出ました。ところが、歩いているうちに、自分がどこにいるか分からなくなってしまいました。「どうしよう…」と困りはてている時、おばあちゃんに会いました。私が知っている日本語、「こんにちは。すみません。」と声をかけて、家の写真を見せて「Where?」とたずねました。おばあちゃんは、私が家への帰り道が分からないらしいと気づき、一緒に私の家をさがしてくれて、ついに見つけることができました。私は、おばあちゃんの親切な行動に心を打たれました。何回もお礼を言いました。私の日本人への印象は、今までいい印象を持っていなかったけれど、180度変わった出来事でした。

学校では、最初のころ、いつも一人で寂しかったです。でもある日、美術の授業中に一人で絵を描いていると、5人のクラスメイトが近づいてきて、私に話しかけてくれたのです。その人たちの後ろから射す太陽の光が、とても輝いて見えたのが今でも心に残っています。その時から、私はその人たちと友達になり、たくさんのことを教えてもらいました。話したいことがたくさんあったけれど、日本語があまりできない私は、何もしゃべることができません。みんなが笑っているとき、なぜ笑っているのか、分かりませんでした。いろいろなことがあって、「日本語をがんばろう!」と、強く思いました。

部活はバレー部に入りました。バレー部に入りましたが、バレーをすることは初めてなので、練習の時によく「私、無理。」「私、できない。」とっていました。でも友達が、「頑張れ!」「失敗はだれにだってあるよ。」といい、先生も「自分ができないと思ったらできない!できると思ったらできる!気持ちは大切!」と応援してくれました。部活が

終わり、家に帰ったら、荷物を置いて、毎日暗い中、公園の外灯の下で練習をしました。うまくできないときは、悔しくて自然と涙が出てきました。それで、私は、自分がバレーが好きなことを確認し、もっとがんばろうと思いました。公園で練習をするときに、私を照らしてくれる外灯を見て、あのよう輝く未来がいつかきっとくる！と思うと、自分に自信がもてるようになりました。私は今ここにいる。これまで私に励ましの言葉をかけてくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

私の頑張りは、自分のためにではなく、親や先生たち、仲間たち、わたしに関わってくれた人たち、その人たちの信頼に応えるためです。

だから、「今を全力で」これからもがんばります！！

ありがとうございました。